



たまなん通信

文責：石川和樹

地域に支えられ

代かきの体験(5年生)

&とうもろこし収穫体験(全校児童)

これからの時代を生き抜く力の育成に、学校内だけでは得られない知識・経験・能力が求められています。おかげさまで、本校は地域で子どもたちの学びや成長を支えていただいています。

5年生が「総合的な学習の時間」「社会科」の学習を兼ねて、稲作の体験学習を行います。6月25日(火)には、代かき体験を行いました。今年度も子どもまもり隊の代表をされている、田中好久さんの水田でさせていただきました。田中さんから代かきをする意味を教えてくださいました。子どもたちは、代かき前のかたい土と、代かき後のやわらかい土の違いを実際に田に入って自分の足で確かめることができました。今後は、田植えをさせていただき、秋には稲刈りもさせていただきます。

また、6月28日(金)には、地域の特産物であるとうもろこしの収穫体験をする予定です。3・4年、1・6年、2・5年生のグループで相原農園さんまで行って、とうもろこしを収穫させていただく予定です。

体験を通して、きっと子どもたちは、水田の土の感触や温度、とうもろこしの重さや香りなど、教科書には書いてない多くのことを自ら学んでくれると思います。

田中さん、相原農園さんのご協力に深く感謝いたします。



コミュニティ・スクール

＝学校運営協議会を設置した学校

学校運営協議会は、法律に基づいて教育委員会によって任命された委員が、一定の権限を持って、学校の運営とそのために必要な支援について協議する合議制の機関です。

令和6年度の地域からの学校運営協議会委員さん 10名

会長 鈴木章安さん（元市教育委員、初代PTA会長）	副会長 依田勝芳さん（元本校校長）
前田良一さん（中央市玉穂地区民生児童委員会会長）	橋本清一さん（下三條一区自治会長）
薬袋 哲さん（市社会福祉協議会・ボランティアセンター長）	泉 玄洋さん（給食センター長 元教育総務課長）
志村香代子さん（地域住民 学識経験者）	佐々木由紀さん（地域住民 元市教育委員）
薬袋 貴さん（玉穂中学校校長）	荒神 綾さん（R5・6年度PTA会長）

玉穂南小学校において、6月20日（木）に令和6年度第1回目の学校運営協議会が開催されました。会議の前に短い時間でしたが全学級の授業参観をし、その後、本校の学校教育目標及び学校経営の目標やビジョンを共有し、学校運営の方針を承認していただきました。今後は、「学校教育目標を達成するために地域で出来ることは」などについて、熟議していただくこととなります。年間3回開催していく予定です。

児童会たて割り班活動&手作り弁当の日

「たてわりランチ」6月13日

1年生から6年生までの児童17人～19人で構成された縦割り班活動ですが、子どもたちはこの縦割り班活動が大好きです。

6月13日（木）は、5年ぶりに復活した『たてわりランチ』を行いました。児童会本部や6年生が「縦割り班の仲間と手作りお弁当を食べたり、仲良く遊んだりして絆を深めよう。」をめあてに計画を進め、ランチタイムから昼休みまで、笑顔のあふれる楽しい時間を過ごすことができました。

6年生は、縦割り班のリーダーとして下級生が楽しめるよういろいろと考えて、活動後は、すぐに振り返りをしていました。このような日々の活動が、下級生からあこがれられる立派なリーダーへと成長させてくれています。

「手作り弁当の日」は、中央市で市内の全8小中学校で取組んでいます。自分で食べるものを自分で調理する体験による食育の推進と家族とのコミュニケーションの機会を増やすことをめざしています。玉穂南小学校では、今年で14回目になりました。栄養バランスのとれた美味しそうな手作りのお弁当がそろいました。「親子でいっしょにつくるお弁当づくり」にご協力いただきありがとうございました。

